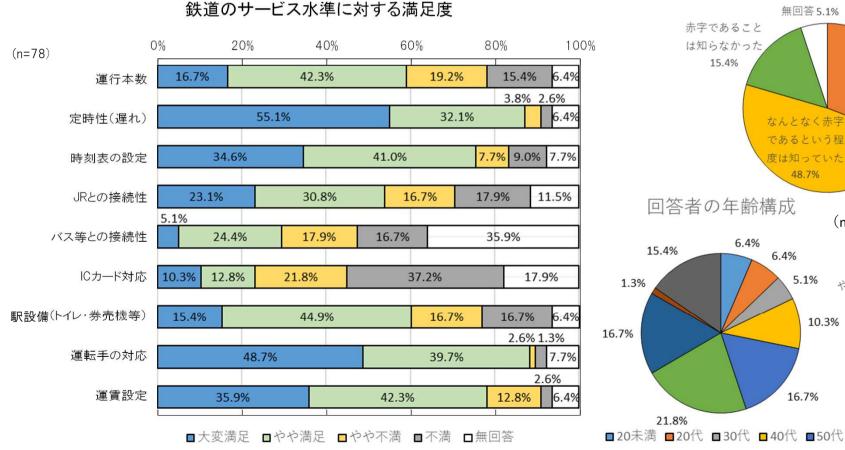
妥当

66.7%

■名鉄蒲郡線 利用者ニーズ(利用者アンケート調査結果)

- 利用実態は、社交・趣味33.3%、通勤30.8%、観光15.4%、買い物14.1%、通学11.5%となっている。回答者の年齢は50.60.70歳代の高齢世代の割合が多い。
- ▶ 運行本数、バスとの接続、ICカード対応、駅設備に関する満足度がその他の項目と比較して低い。
- ▶ 赤字の状況について、15.4%の人が「知らなかった」と回答している。継続が難しい点が十分周知できていない。
- ▶ 市民一人当たり約1240円(年間)の負担額が発生していることについて、「妥当」という意見が多いが、「少ない」という意見よりも「多すぎる」という意見の方がわずかではあるが上回っている。



無回答 5.1% おおよその赤字 赤字であること 額を含め知って は知らなかった 15.4% いた 30.8% なんとなく赤字 であるという程 度は知っていた 48.7% 回答者の年齢構成 負担額について (n=78)6.4% 少なすぎる _ 6.4% やや多すぎる 15.4% 2.5% 6.4% 12.8% 2.6% 5.1% 1.3% やや少なすぎる 9.0% 10.3% 16.7% 16.7% 21.8%

■60代 ■70代 ■80以上 ■無回答

赤字の状況について

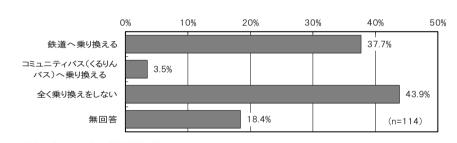
■路線バス 利用者ニーズ (路線バス利用者アンケート調査結果)

- 利用実態は、買い物30.7%、通院(市民病院)20.2%、通勤13.2%、通院(他)12.3%となっている。回答者の年齢は50.60.70.80歳代の高齢世代の割合が多い。鉄道との違いは、20歳前後と80歳以上の割合が多い。
- ▶ 乗り継ぎ状況は、「乗り換えをしない」が43.9%となっている。乗り継ぎ利用者は「鉄道」が37.7%、コミバスは3.5%。
- ▶ 運行頻度、バス停待機施設、定時制(遅れ)、時刻表の設定、運賃設定に関する満足度がその他の項目と比較して低い。
- ▶ 市民一人当たり約625円(年間)の負担額が発生していることについて、「妥当」という意見が多いが、「多すぎる」という意見よりも「少なすぎる」という意見の方が上回っている。

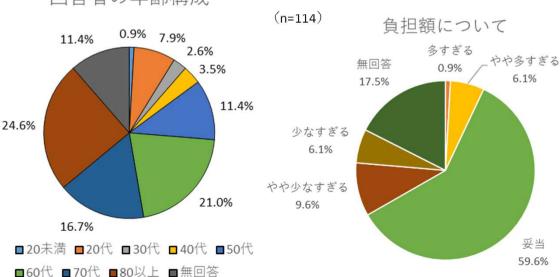
路線バスのサービス水準に対する満足度

100% 0% 20% 40% 60% 80% (n=114)運行頻度 9.6% 30.7% 29.8% 15.8% 14.0% 0.9% ルート 28.9% 44.7% 12.3% 13.2% バス停位置 34.2% 40.4% 13.2% 12.3% バス停待機施設 10.5% 14.9% 36.0% 14.0% 24.6% 定時性(遅れ) 12.3% 48.2% 21.9% 14.0% 時刻表の設定 34.2% 26.3% 11.4% 14.0% 鉄道等との接続性 39.5% 16.7% 7.9% 23.7% 0.9% 運転手の対応 36.8% 42.1% 12.3% 車内の快適性 32.5% 43.9% 9.6% 13.2% 運賃設定 18.4% 40.4% 24.6% 14.0% ■大変満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 ■無回答

鉄道・コミュニティバスへの乗り継ぎの有無



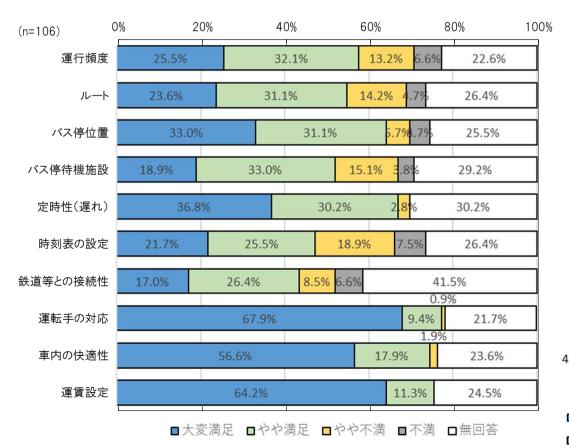
回答者の年齢構成



■コミュニティバス 利用者ニーズ (コミュニティバス利用者アンケート調査結果)

- ▶ 利用実態は、買い物38.7%、通院(他) 17.9%、社交・趣味17.0%、通院(市民病院) 10.4%となっている。回答者の年齢は70.80歳代の高齢世代の割合が多い。鉄道・路線バスとの違いは、ほぼ70歳以上の世代のみの利用。
- ▶ 乗り継ぎ状況は、「乗り換えをしない」が38.7%となっている。乗り継ぎ利用者は「鉄道」が30.2%、路線バスは9.4%。
- ▶ 運行頻度、ルート、バス停待機施設、時刻表の設定に関する満足度がその他の項目と比較して低い。総じて高い評価となっている。
- ▶ 市民一人当たり約313円(年間)の負担額が発生していることについて、「妥当」という意見が多いが、「多すぎる」という意見よりも「少なすぎる」という意見の方が上回っている。

コミュニティバスのサービス水準に対する満足度



鉄道・コミュニティバスへの乗り継ぎの有無

